

平成20年度  
三重大学卒業生、修了生、および事業所への  
大学教育についてのアンケート調査 結果報告

高等教育創造開発センター  
(Higher Education Development Center)  
教育評価部門

HEDC

三重大学高等教育創造開発センター  
Higher Education Development Center, Mie University

# 第 I 部 卒業生と修了生

HEDC

三重大学高等教育創造開発センター

Higher Education Development Center, Mie University

# 調査目的

- ・ 三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに相応しているかを調査することにより、今後の三重大学の高等教育の改善・発展に資する。

HEDC

三重大学高等教育創造開発センター

Higher Education Development Center, Mie University

# 調査概要

- (1) 調査対象 平成19年度に本学を卒業した卒業生、もしくは研究科を修了した修了生
- (2) 調査時期 平成20年2月1日～平成20年2月20日
- (3) 調査方法

本学在学中に届け出ていた保証人の住所宛てに、依頼文と調査用紙、返信用封筒を同封した封筒を郵送した。回答後は調査用紙を各自で返信用封筒に入れ、本学に返送するよう依頼した。

# HEDC

三重大学高等教育創造開発センター  
Higher Education Development Center, Mie University

# 調査概要

## (4) 有効回答者数(率)

表1 回収結果

	学部 卒業生	研究科 修了生
発送数	1,404	478
回収数	199	68
回収率(%)	14.2	14.2

# HEDC

三重大学高等教育創造開発センター

Higher Education Development Center, Mie University

# 結果一 卒業生の教育満足度

- 三重大大学の教育について、「非常に不満」から「非常に満足」の6段階で回答を求めた。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。

## 満足度が高かった項目

「1. 教育全般」、「4. 学習環境」、「10. 専門の授業全般」、「11. ゼミなどの少人数課題探求型の授業」、「13. 理系基礎関係授業※」、「14. 卒業研究指導※」(※は経験者のみの回答)

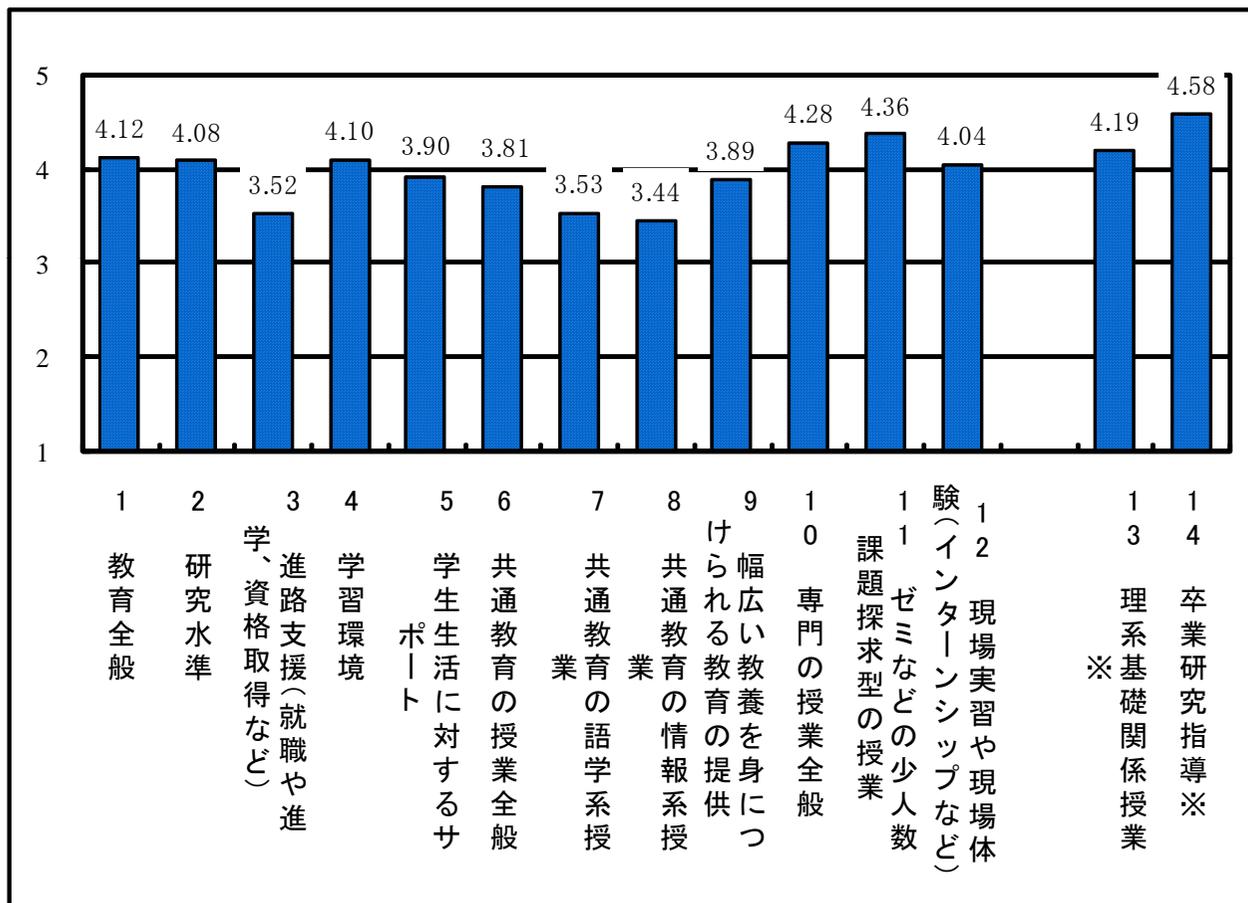


図1 全卒業生(119名)の三重大大学の教育に対する満足度

# HEDC

三重大大学高等教育創造開発センター  
Higher Education Development Center, Mie University

# 結果一 修了生の教育満足度

- 三重大学大学院の教育について、「非常に不満」から「非常に満足」の6段階で回答を求めた。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。

- 満足度の高かった項目

「1. 教育全般」、「2. 研究水準」、「5. ゼミなどの少人数課題探求型の授業」、「6. 最先端の研究や高度専門知識の教授」、「8. 研究指導」、「9. 学位論文指導」、「11. 学習環境」など

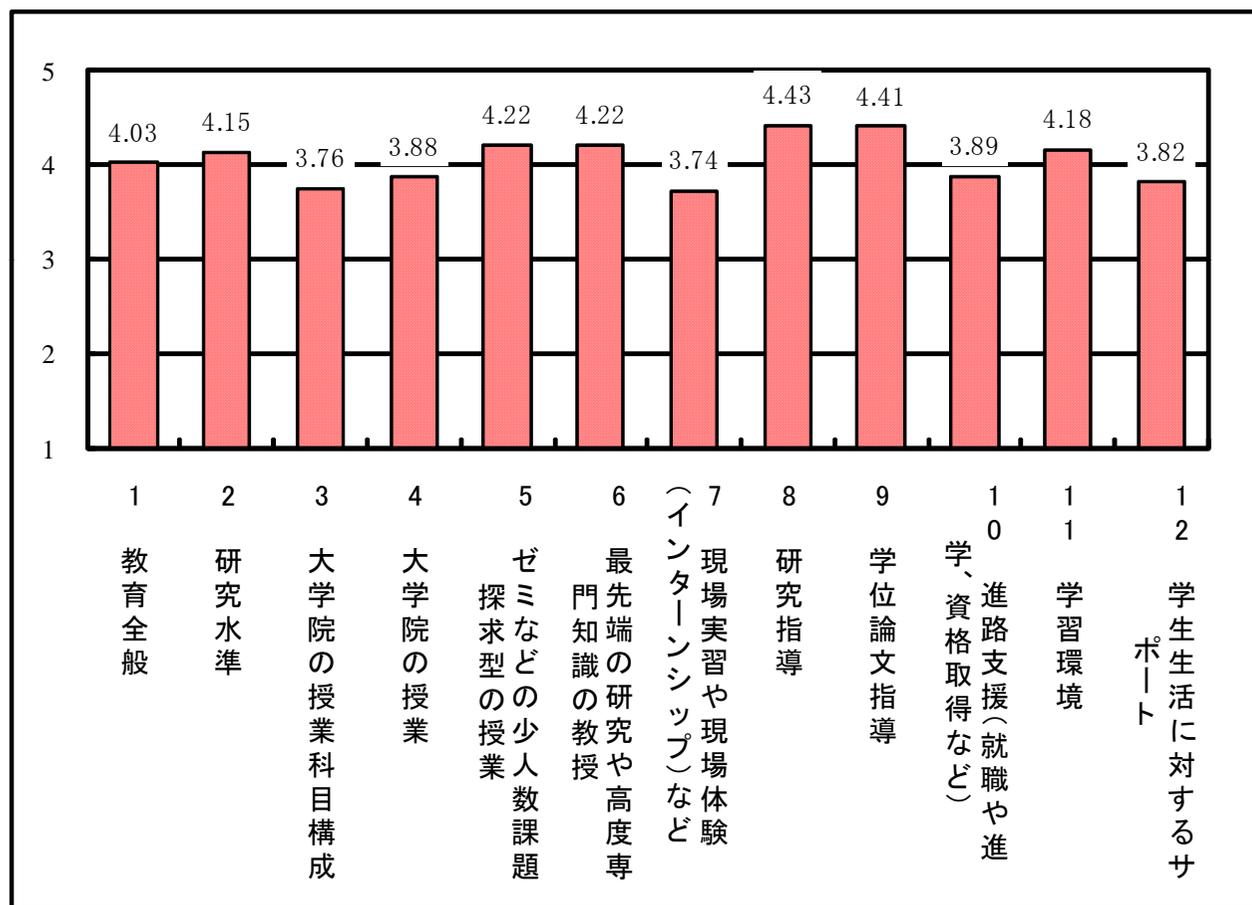


図2 全修了生(68名)の三重大学大学院の教育に対する満足度

# HEDC

三重大学高等教育創造開発センター  
Higher Education Development Center, Mie University

# 結果一 卒業生の自己評価

- 三重大大学での学習や研究によって、力が身についた程度を、「身についていない」から「十分身についている」の4段階で回答を求めた。
- 平均値が高いほど、自己評価が高いことを表す。

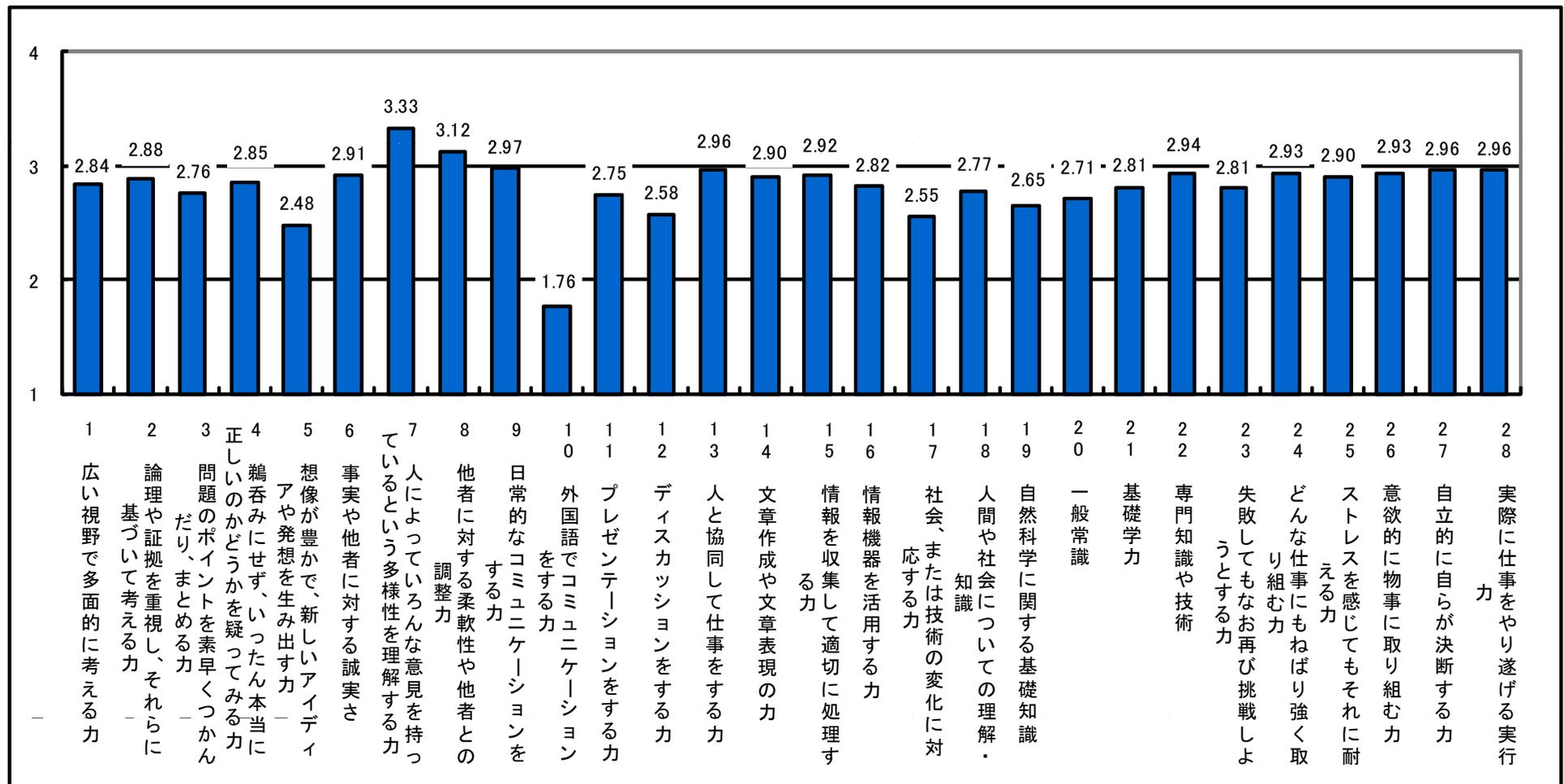


図3 全卒業生(199名)の自己評価

# 結果一卒業生の自己評価

- ・ 自己評価の高かった項目

- 「2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力」、「6. 事実や他者に対する誠実さ」、「7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力」、「8. 他者に対する柔軟性や他者との調整力」、「9. 日常的なコミュニケーションをする力」、「13. 人と協同して仕事をする力」、「14. 文章作成や文章表現の力」、「15. 情報を収集して適切に処理する力」、「22. 専門知識や技術」、「24. どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「25. ストレスを感じてもそれに耐える力」、「26. 意欲的に物事に取り組む力」、「27. 自立的に自らが決断する力」、「28. 実際に仕事をやり遂げる力」など

- ・ 自己評価がそれほど高くなかった項目

- 「10. 外国語でコミュニケーションをする力」、「11. プレゼンテーションをする力」、「ディスカッションをする力」など

# 結果一 修了生の自己評価

- 三重大学大学院での学習や研究によって、力が身についた程度を、「身につけていない」から「十分身につけている」の4段階で回答を求めた。
- 平均値が高いほど、自己評価が高いことを表す。

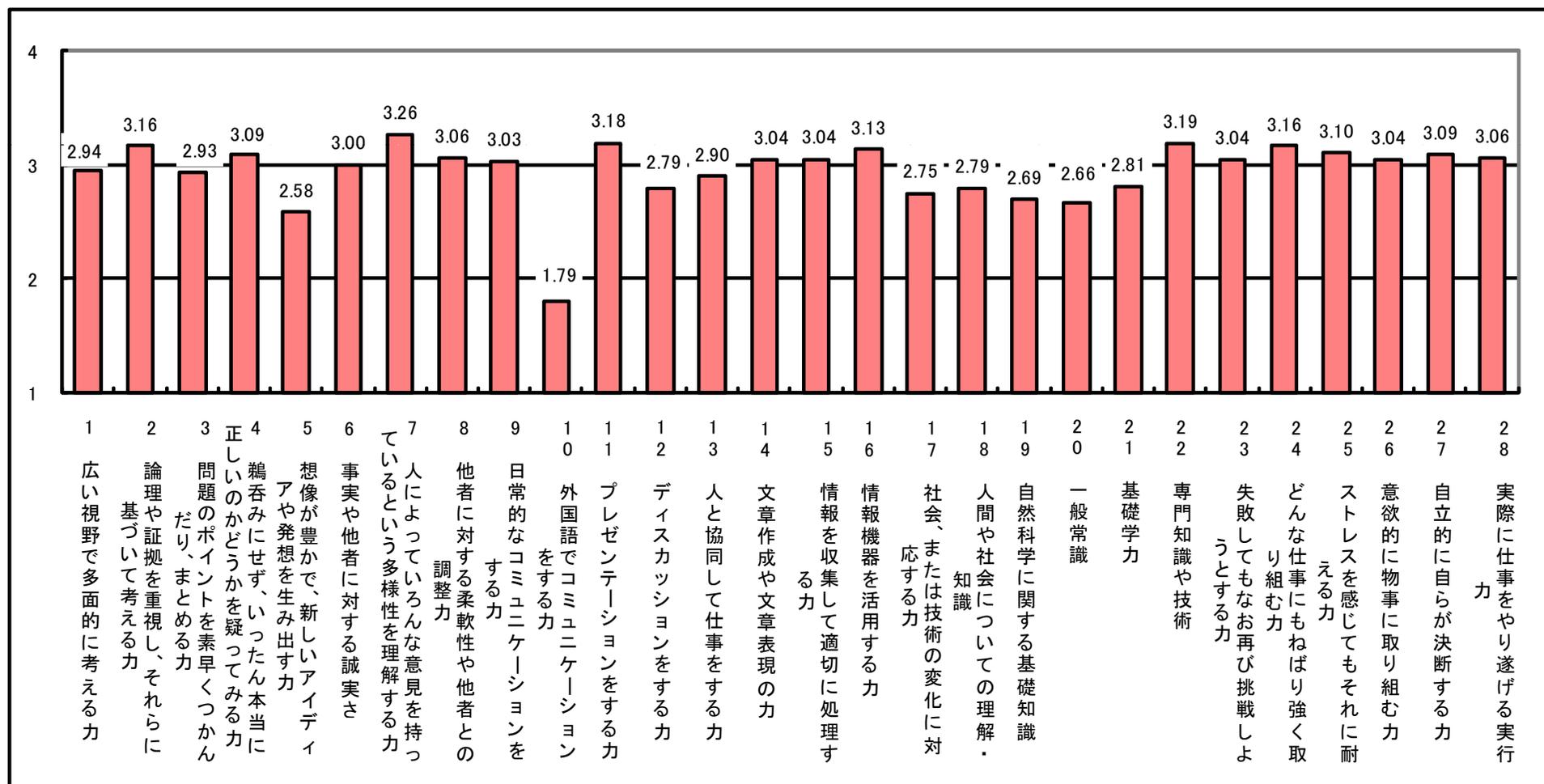


図4 全修了生(68名)の自己評価

# 結果一 修了生の自己評価

- ・ 自己評価の高かった項目
  - 28項目中17項目の平均値が3点(ある程度身についた)以上と自己評価は全体的に高かった。
  - 特に、「2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力」、「4. 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力」、といった考える力、「7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力」、「11. プレゼンテーションをする力」といったコミュニケーション力、「22. 専門知識や技術」、「24. どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「25. ストレスを感じてもそれに耐える力」といった現場に即した力に対する評価が高かった。
- ・ 自己評価がそれほど高くなかった項目
  - 「10. 外国語でコミュニケーションをする力」

# 第Ⅱ部 事業所

HEDC

三重大学高等教育創造開発センター

Higher Education Development Center, Mie University

# 調査目的

- 三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに相応しているかを調査することにより、今後の三重大学の高等教育の改善・発展に資するため

HEDC

三重大学高等教育創造開発センター

Higher Education Development Center, Mie University

# 調査概要

- (1) 調査対象 平成19年度に本学を卒業した卒業生、もしくは研究科を修了した修了生を受け入れた事業所
- (2) 調査時期 平成20年2月1日～平成20年2月20日
- (3) 調査方法

卒業生/修了生が卒業/修了時に、本学に届け出た就職先である事業所宛てに、依頼文と調査用紙、返信用封筒を同封した封筒を郵送した。事業所が複数の三重大学卒業生/修了生を受け入れている場合は、最も回答しやすい1名を想起して回答するように依頼した。回答後は調査用紙を各自で返信用封筒に入れ、本学に返送するよう依頼した。

# 調査概要

## (4) 有効回答数(率)

表2 事業所からの回収結果

	(卒業生受入れ所) 事業所	(修了生受入れ所) 事業所
発送数	600	281
回収数	131	46
回収率(%)	21.8	16.4

HEDC

三重大学高等教育創造開発センター  
Higher Education Development Center, Mie University

# 結果一 卒業生の評価（事業所）

- 事業所が受け入れた卒業生に力が身についている程度を、「身についていない」から「十分身についている」の4段階で回答を求めた。また、「評価できない」という選択肢も設けた。平均値は、高いほど事業所からの評価が高いことを表す。カッコ内は評価できないと回答した件数を表す。

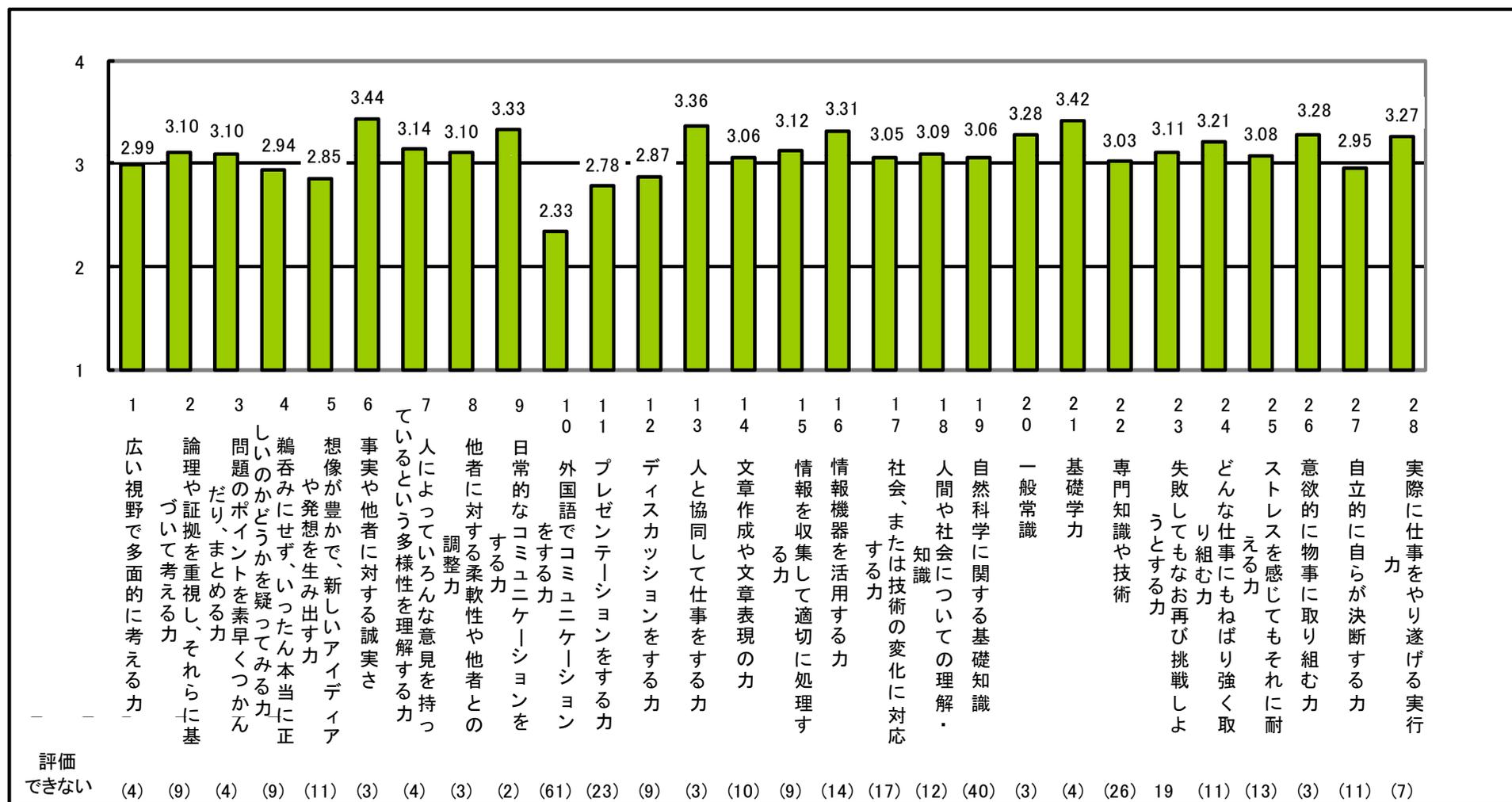


図5 全卒業生に対する事業所の評価(131件)

# 結果一 卒業生の評価（事業所）

- 評価の高かった項目

- 卒業生に対する事業所の評価は、どの項目も非常に高かった。
- 特に、「6. 事実や他者に対する誠実さ」、「21. 基礎学力」に対する評価は非常に高かった。

- 評価がそれほど高くなかった項目

- 「10. 外国語でコミュニケーションをする力」に対して、「評価できない」と回答した事業所は131件中61件と最も多く、他の項目よりも評価が低かった。

# 結果一 修了生の評価(事業所)

- 事業所が受け入れた修了生に力が身についている程度を、「身についていない」から「十分身についている」の4段階で回答を求めた。また、「評価できない」という選択肢も設けた。平均値は、高いほど事業所からの評価が高いことを表す。カッコ内は評価できないと回答した件数を表す。

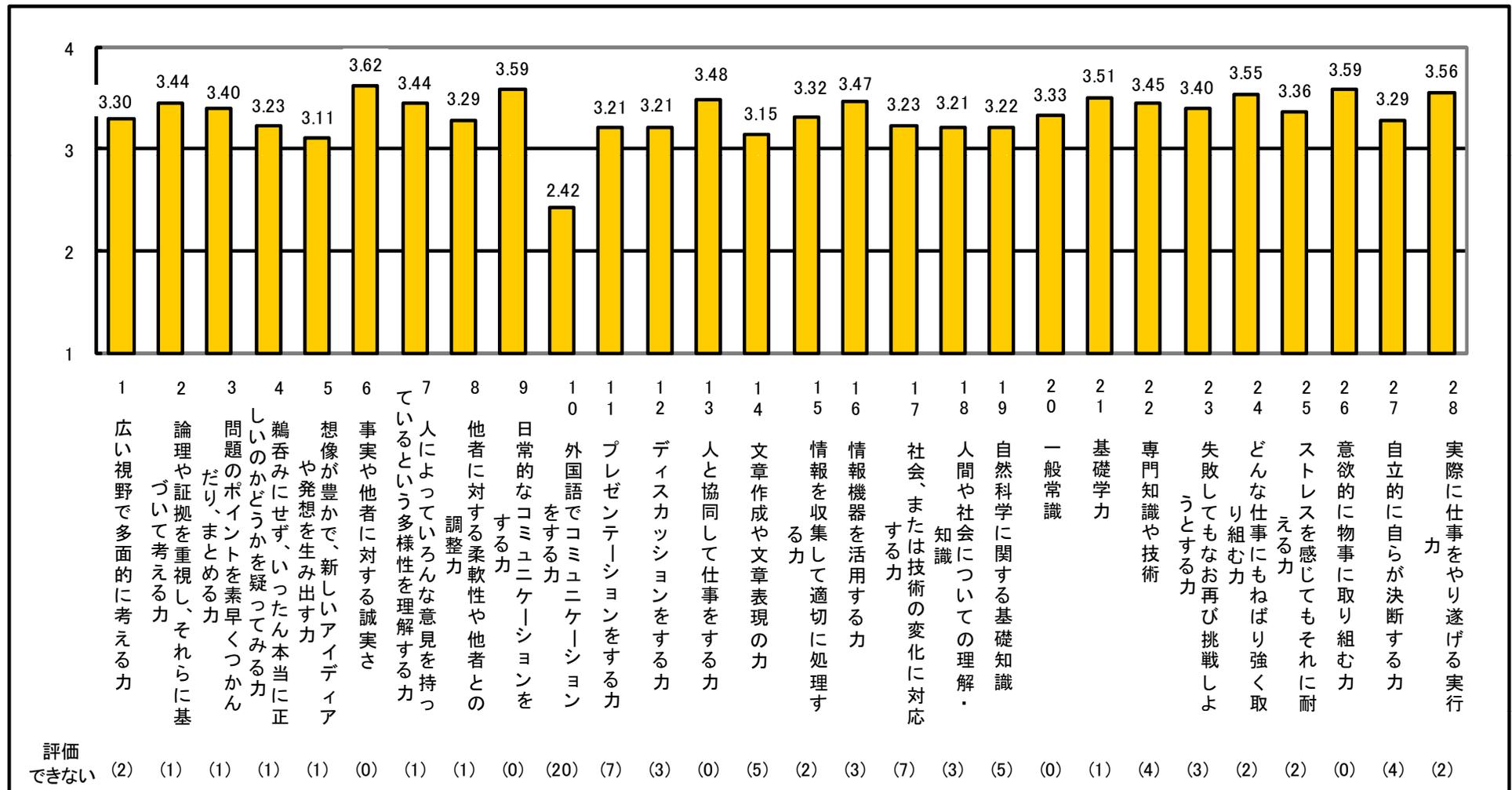


図6 全修了生に対する事業所の評価(46件)

# 結果－修了生の評価（事業所）

- 評価の高かった項目
  - － 修了生に対する事業所の評価はどの項目も非常に高かった。
  - － 特に、「6. 事実や他者に対する誠実さ」、「9. 日常的なコミュニケーションをする力」、「21. 基礎学力」、「24. どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「26. 意欲的に物事に取り組む力」、「28. 実際に仕事をやり遂げる実行力」に対する評価は、非常に高く、3.5点（ある程度身についている～十分身についている）以上であった。
- 評価がそれほど高くなかった項目
  - － 「10. 外国語でコミュニケーションをする力」に対する評価は、他の項目よりも評価が低かった。

# 結果一 大学への教育ニーズ

- 事業所に対して、三重大学の教育に期待するものをたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた。全事業所の回答(177件)のうち、各項目を選択した割合を算出した。

## ニーズの高い項目

「1. 広い視野で多面的に考える力」、「4. 人と共同して仕事をする力」、「10. どんな仕事にもねばり強く取り組む力」などを選択した事業所が多かった。

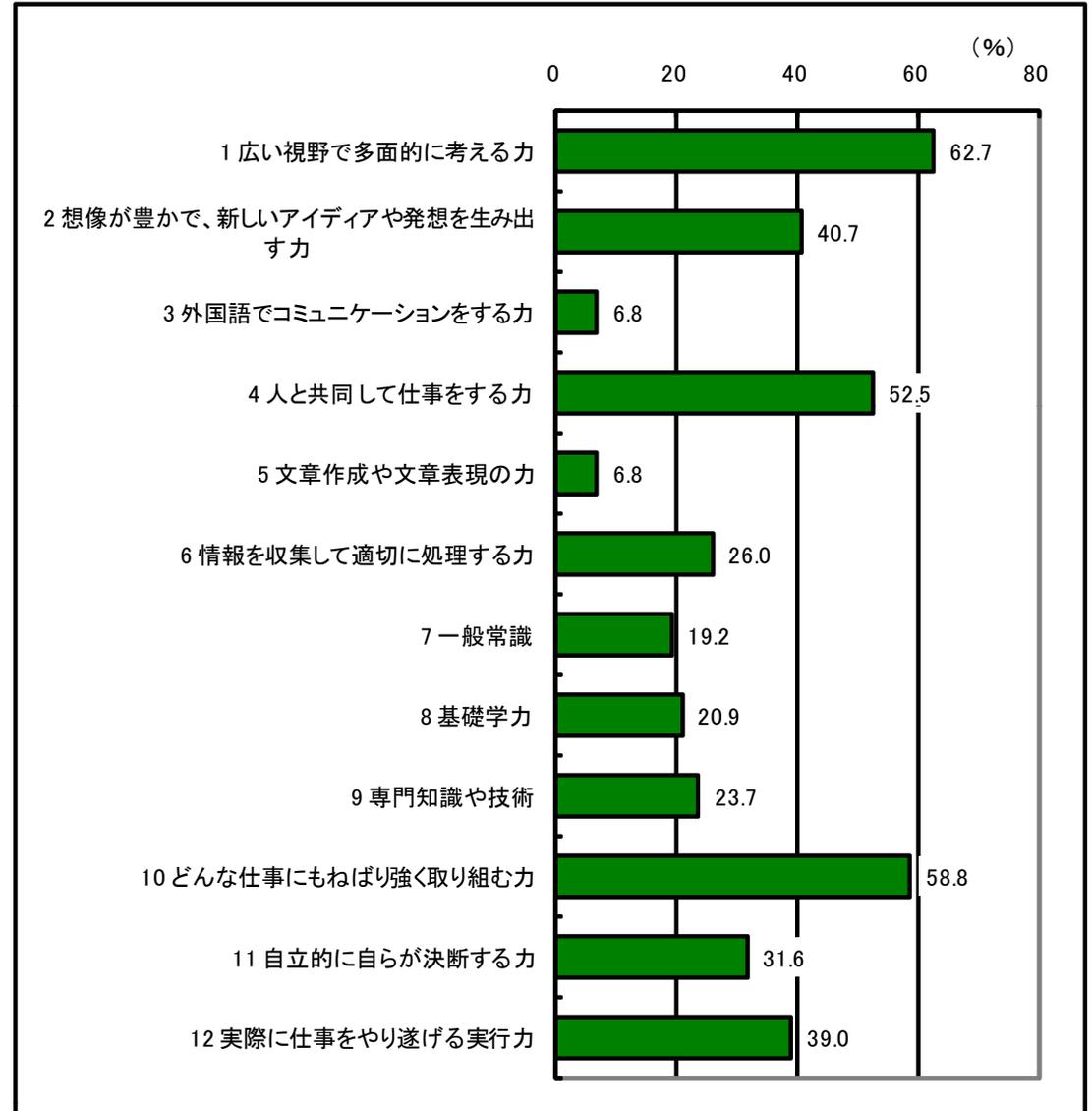


図7 事業所が感じる教育ニーズ